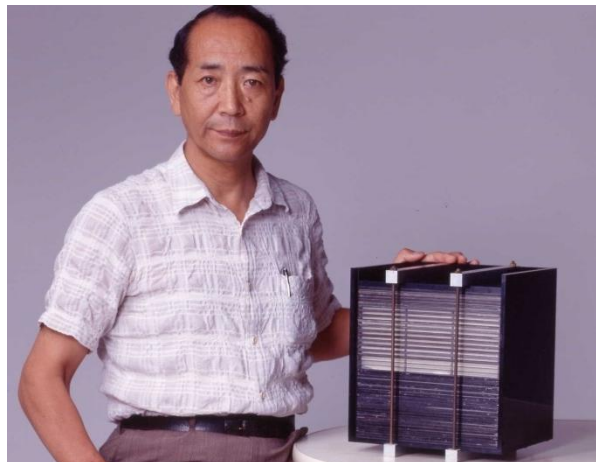


ある素粒子実験家達のテツガク

対談：丹生 潔さん、丹羽 公雄さん



丹生 潔 (にう きよし) さん

名古屋大学名誉教授。中間子多重発生について2つの火の玉模型を提案。チャームクォークを含む粒子を発見。物理F研設立者。

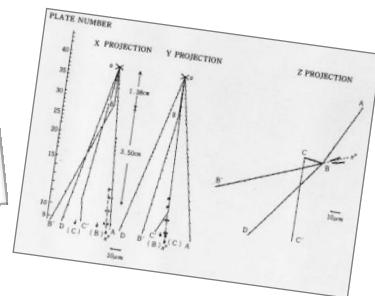
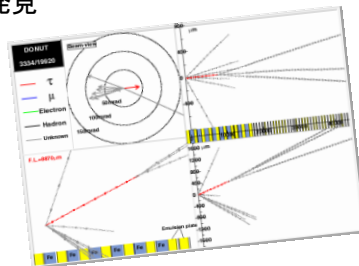
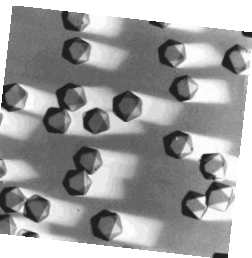
丹羽 公雄 (にわ きみお) さん

名古屋大学名誉教授。原子核乾板の自動飛跡読取装置を開発。タウニュートリノを発見。物理F研2代目教授。

2人の素粒子物理学の実験家が自身の研究について、そして研究人生を通して見て来たこと、体験したこと、研究に対する思いについてストレートに、縦横無尽に、参加者のみなさんとのインタラクションを楽しみながら語り合います。座談会を通して、実験家の中に生きている「テツガク」が浮かび上がってくることでしょう。

話の内容は会の流れにより変化しますが、以下の内容を含んで展開すると予測されます。

- ・無視されたチャーム粒子の最初の発見
- ・タウニュートリノの発見
- ・検出器、技術に対するこだわり
- ・研究とは、発見とは
- ・歴史から学ぶこと
- ・若手のみなさんへのメッセージ



日時： 2010年5月21日金曜日 17時00分～19時00分

事前予約の必要はありません

場所： Cafeフロンテ

参加費： 無料、ただしワンドリンクご注文ください

連絡先： 飯野孝浩 (理学研究科太陽地球環境研究所)
iino@stelab.nagoya-u.ac.jp 080-6919-4394

